



私たちが支える道路イン

フラは地域社会の命綱です。平時はもちろん、災害時に人々の生活を守り、逆境から立ち上がる第一歩を踏み出すのも私たちであり、アスファルト合材業界が社会に果たす使命は、極めて重いものです。

しかし、近年は合材数量の減少が止まらず、過去最低を更新し続けています。合材工場の存続や地域供給

網の維持すらままならない事態となりかねません。需要拡大に向けた政策支援をお願いし、中温化合材の活用や高耐久常温合材の備蓄

推奨の呼びかけを行い、災害時に空白地帯を生まない

インフラ支え地域を守る

日本アスファルト合材協会

会長 今泉 保彦

供給網の構築に努めています。アスガラ、コンガラの需給のばらつきも深刻な課題です。地域での積極的な再生材活用が優先されますが、加えて全国レベルでの需給平準化、処理スキーム

の整備など制度化を関係各所へ要望しています。そして、やはり脱炭素と働き方改革は引き続き最重要のテーマです。再生合材は脱炭素で一定の成果をあげていますが、さらなる二

は、日本道路建設業協会と共同で改革宣言を掲げ、4週8閉所や土日休業の実現に取り組んでいます。東京地区では予約制導入などで閉所率が改善し、休日の少量出荷抑制に向けた環境整備も進みつつあります。

国際情勢の先行きは見えませんが、国内では新政権への期待はあるものの、改正建設業法や取引適正化法の施行など、新たな局面への対応が求められるでしょう。揺れ動く環境下でも変わらず社会インフラを支え、地域を守り続けるべく、法令順守を念頭に魅力ある発展を目指します。

